

水をくぐり届ける

豊橋市上下水道局

これまで4回にわたって、水道の歴史や仕組みを学んできました。これからも私たちの家庭に安全・安心な水を届けるのでしようか。豊橋市上下水道局に答えてもらいました。聞き手は本紙の関健一郎客員編集委員。

安定供給へ

◆水の供給は大丈夫？
◆もちろんです。安全・安心な水道水を皆さんに配ることは、私たちの使命です。水道水を供給



関客員編集委員と若手職員

ださい。歯みがきやシャワー時に水を出しっぱなしにしないこと、風呂の残り湯を洗濯に使うなど、簡単なことから始めてみてください。

◆SDGsでも水が出ない地域が一つになって水に利用できるようなし、持続可能な水・衛生管理を確保にします。飲み水や食べ物をつくる、私たちが使うものをつくるなど、私たち人間を含めてすべての生き物には水が欠かせません。しかし、

⑤ SDGsと水

世界では不衛生な水を飲む人が大勢います。こうした現状を変えるため、例えばSDGsの目標6・1では、世界中のすべての人が、安全で安価な飲料水をいつでも平等に使える世界の実現を目指しており、ターゲット6・6では森林や河川など水に関連する生態系の保護・回復を目指すなど、水に関する項目がいくつか設けられています。

◆母なる川 豊川(とよがわ)の環境を守ることは、安全・安心な水を未来へつなぐ重要な取り組みだと思っています。そのためにも、豊橋市だけでなく、東三河地域が一つになって水に

◆「水」は「緑」をテーマとした取り組みが評価され、豊橋市は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に

◆「水」は「緑」をテーマとした取り組みが評価され、豊橋市は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に

◆「水」は「緑」をテーマとした取り組みが評価され、豊橋市は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に

◆「水」は「緑」をテーマとした取り組みが評価され、豊橋市は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に

◆「水」は「緑」をテーマとした取り組みが評価され、豊橋市は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に